

令和7年度 学習案内 第1学年 【英語】

1 学習目標			
○初歩的な短文の英語を聞いて・読んでおおまかな内容を理解することができる。			
○自分自身や身近な人やものについて、初歩的な短文の英語を用いて書いて・話して表現することができる。			
2 学習内容			
学期	単元名（学習内容）		
1 学 期	GetReady 小学校の復習 英語を正しく発音し、スペルを正確に書く。 Program 1 be 動詞を理解し自分や相手のことを表現する。 Program 2 一般動詞を理解し自分や相手がすることを表現する。 Program 3 助動詞 can を理解し「できること」「できないこと」を表現する。 Power-Up1 買い物の初歩的表現を理解し使う。 Program 4 this, that を理解し自分と相手以外の人やものについて表現する。		
2 学 期	Program 5 三人称単数・複数形を理解し自分と相手以外の人がすることを表現する。 Power-Up2 代名詞の使い方を理解し表現する。 Program 6 目的格と動詞の使い方を理解し「理由」などについて表現する。 Program 7 there is, there areを理解し「～がある」「～がいる」等を表現する。 Power-Up3 道案内の方法の初歩的表現を理解し使う。 Program 7 there is, there areを理解し「～がある」「～がいる」等を表現する。 Program 8 現在進行形を理解し、今していることについて表現する。 Power-Up4 買い物時のお店の店内放送を聞き取る		
3 学 期	Program 9 過去形を理解し過去のことについて表現する。 Power-Up5 インタビューを通じて相手とコミュニケーションする。 Program10 過去進行形を理解し過去の様子について表現する。 Power-Up6 手紙・メールの書き方を理解し表現する。		
3 評価の観点と方法（①～③の観点を総合的に判断して評価します。）			
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・ 定期テスト(中間・期末) ・ 単語小テスト ・ 会話,暗唱テスト ・ 単元テスト	・ 定期テスト(中間・期末) ・ 会話,暗唱テスト ・ 単元テスト	・ 授業態度 (取り組みや発表等) ・ 会話活動 ・ 提出物 (ノート、ワーク) ・ 自己評価シート

【英語】

1 學習目標

○日常的な話題について話の概要をとらえることができる。

○日常的话题について自分の考えや気持ちを整理してやりとりしたり、まとまりのある内容を話したり、書いたりすることができる。

2 学習内容

学期	単元名 (学習内容)
1 学 期	Program 1 New Start (未来表現 / 動名詞) Program 2 Koshien Project in Africa (接続詞 that / when / if) Program 3 Taste of Culture (不定詞) Our Project④ 「海外でヒットするラーメンのCMを作ろう」 Reading① The Three Dolls
2 学 期	Program 4 Leave Only Foot prints (感情の原因を表す不定詞/ must / have [has] to ~) Program 5 Work Experience (疑問詞+to ~ / 〈look+形容詞〉 〈become+ 名詞 [形容詞]〉 / 〈主語+動詞+人+もの〉) Program 6 High - Tech Nature (比較級 / 最上級 / as ~ as…) Our Project⑤ 「日本のおすすめスポットを紹介しよう」 Reading② Friendship beyond Time and Borders
3 学 期	Program 7 Unique Animals (like を使う比較表現/ 〈主語+動詞+人+疑問詞+to~〉) Program 8 A Hope for Lasting Peace (受け身) Our Project⑥ My Hero の魅力を伝えよう。 Reading③ Apollo 13

3 評価の観点と方法 (①～③の観点を総合的に判断して評価します。)

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	○定期テスト ○授業での活動・発表 ○パフォーマンステスト （スピーキングテスト、グループ発表、スピーチ等） ○単元テスト	○定期テスト ○授業での活動・発表 ○パフォーマンステスト （スピーキングテスト、グループ発表、スピーチ等）	○授業での活動・発表 ○ノートや提出物の取組内容 ○テストがどれだけ伸びたか ○テストの点数

令和7年度 学習案内 第3学年 【英語】

1 学習目標			
○日常的な話題や社会的な話題について内容を理解したり、話の概要を捉えたりすることができる。 ○日常的な話題や社会的な話題について、感じたことや考えたことを伝えたり、まとまりのある内容を話したり、書いたりすることができる。			
2 学習内容			
学期	単元名（学習内容）		
1 学 期	Program 1 Japanese Bentos Are Interesting!（不定詞の応用、現在完了の経験用法） Program 2 Good Night. Sleep Tight.（現在完了の完了用法・継続用法・進行形） Program 3 Hot Sport Today（接続詞 that、主語+動詞+目的語+補語・動詞の原形） Our Project 「パラスポーツについて理解を深めよう」 Reading(読み物) The Meaning of Life		
2 学 期	Program 4 Sign Languages, Not Just Gestures! (ing 形・過去分詞の後置修飾) Program 5 The Story of Chocolate（関係代名詞の主格） Program 6 The Great Pacific Garbage Patch（関係代名詞の目的格） Our Project 「レストランにSDGsの取り組みを提案しよう」		
3 学 期	Program 7 Robots Can Improve Quality of Life?（仮定法過去） Reading(読み物) Malala's Voice for the Future 3 年間の総復習 Special Project 「中学校の思い出を残そう」 Reading(読み物) A Birthday Present / The Ig Nobel Prize / Nakamura Tetsu		
3 評価の観点と方法（①～③の観点を総合的に判断して評価します。）			
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	○定期テスト ○授業での活動・発表 ○パフォーマンステスト（スピーキングテスト、グループ発表、スピーチ等） ○小テスト	○定期テスト ○授業での活動・発表 ○パフォーマンステスト（スピーキングテスト、グループ発表、スピーチ等）	○定期テスト ○授業での活動・発表 ○ノートや提出物の取組内容 ○自己評価 ○パフォーマンステスト、スピーキングテスト

1 学習目標

○日常的な話題や社会的な話題について内容を理解したり、話の概要をとらえたりすることができる。

○日常的な話題や社会的な話題について、感じたことや考えたことを伝えたり、まとまりのある内容を話したり、書いたりすることができる。